



高い精度を生み出すグランド・メゾン

ジャガー・ルクルトが **WATCHES AND WONDERS 2024** で

偉大なる精度の遺産を祝います

概要：

- 鍛冶職人の真の工房を再解釈
- クラフトマンシップと知識の旅を祝う
- 味覚の探求による前衛的な料理技術体験

2024 年、ジャガー・ルクルトは、1833 年のアントワーヌ・ルクルト創業以来続く、グランド・メゾンの信条の中核を担う精度への追求を披露します。時計製造を学ぶ以前から発明家であったルクルトは、精度にこだわり続け、その精神は今日に至るまでマニファクチュールの時計職人や技師を駆り立て続けています。ジャガー・ルクルトでは、キャリバーの設計や構造、また部品の細部に至るまで完璧な製品を作り上げるための技術的支援だけでなく、すべての部品の仕上げや組み立て、ケースやダイヤルの装飾の背後にある人間の本質的な所作の精度に至るまで、必要な精度を追求しています。

今日、私たちは正確な計時を当たり前のこととしていますが、デジタル機器が原子時（100 万分の 1 秒の精度）を携帯電話やコンピュータの画面に変換する一方で、機械式時計製造は芸術と科学をユニークに融合するものです。2024 年、この機械精度の追求は、主役となる新しいデュオメトルのモデルによって見事に表現されます。

魅惑的な精度の物語へ深く浸る

4 月にジュネーブで開催される **Watches and Wonders** で、ジャガー・ルクルトは機械式時計製造の魔法を祝います。ジャガー・ルクルトの根底にある知的な厳密さと技巧を明らかにしながら、4 つの章で精度に関する興味深い物語を伝えます。

製造の精度は、創業者が精密さへのこだわりをどのように発明へと昇華させ、現代の時計製造業の礎を築いたのか、その原点を描いた物語です。創業者の精神が約 200 年にわたってマニファクチュールの原動力となり続け、正確な手作業のクラフトマンシップによるかけがえのない価値を高め、引き



立てるために最先端の技術を活用してきたことを明らかにします。**クロノメーターの精度**は、19世紀の懐中時計から、厳格な 1000 時間コントロールプロトコルの下で認定された今日の新作まで、マニファクチュールのクロノメーター認定時計の開発におけるマイルストーンを示しています。クロノメーターとは、簡単に言えば計時精度のことで、この章では、腕時計を日常的に着用する際に直面する難題に対処するために行う深い研究を明らかにします。

調速機構の精度は、調速機構（すなわちテンプとヒゲゼンマイ）の重要な役割を明らかにします。この鼓動こそ、私たちが魅力的だと感じる時計の心臓の動きであり、等時性として知られるこの鼓動の規則性は、正確な計時にとって極めて重要です。ヒゲゼンマイの理想的な形状や革新的なトゥールビヨンなど、ジャガー・ルクルトが絶え間なく研究を重ね、多くの特許を取得した革新的な技術をご覧ください。 **複雑機構の精度**は、エネルギーの完璧な流れを維持する一方、余分なエネルギーの爆発を必要とする複雑さを加えることでその規則的な流れが損なわれてしまうといった、時計製造における基本的な難問を探求します。この章では、クロノグラフが複雑機構の中で最も精度が要求される理由と、ジャガー・ルクルトの画期的な解決策をご紹介します。ジャガー・ルクルトが発明したデュオメトル機構は、2007年にクロノグラフとして発表され、その後、他の複雑機構と組み合わせられ、独自のコレクションを形成しています。

2024年、ジャガー・ルクルトは、デュオメトル・クロノグラフ・ムーン（キャリバー391）とデュオメトル・ヘリオトゥールビヨン・パーペチュアル（キャリバー388）の2つの全く新しいデュオメトルキャリバーと、ステンレススチールで新鮮な解釈を施したデュオメトル・カンティエーム・ルネールを発表します。

偉大な遺産が蘇るためにデザインされたブース

Watches and Wonders 2024において、ジャガー・ルクルトは精度の起源にオマージュを捧げます。この物語は、ジャガー・ルクルトが創業される何世代も前に始まったものであり、ジュウ溪谷の歴史と、時計製造が始まる前にそこで栄えた金属加工技術に深く結びついています。

この魅惑的な物語を来場者に体験していただくため、ブースは、ジュウ溪谷の鍛冶職人たちが腕を磨いた 18~19 世紀の鍛冶屋からインスピレーションを得たデザインとなっています。インダストリアル・スタイルのデザイン要素や、錆びたメタル、サテン仕上げメタル、ミネラルストーン、レンガ、オーク材などの素材を使用することで、時間と場所の感覚を呼び起こします。スペースの中央には、鍛冶屋の炎を見事に表現した、鉄の石でできた炉床に設置した壮大なファイヤーピットがあります。火を囲む巨大な LED スクリーンに映し出される音と光のショーは、ジュウ溪谷におけるスイス時計製造の物語を伝えます。この厳しくも荒々しく美しい土地に定住した最初の住民から始まり、ルクルト家の到来、冶金学の誕生、時計製造の夜明け、そして高級時計製造の偉大な名のひとつとなるジャガー・ルクルト誕生の軌跡をたどります。さまざまなシーンで、煙、火花、炎などの火のエフェ



クトがアニメーションで映し出され、ドラマティックな効果を生み出します。ショーは 1 時間ごとに上演され、上演時間は 3 分です。

ブースのレイアウトには、さまざまなレベルに分けられたスペースがあり、来場者は精度の原理をより深く理解し、メゾンの最新タイムピースを発見しながら、物語を奥深く探ることができます。

クラフツマンシップと知識の旅を祝う

鑑賞ルームでは、ジャガー・ルクルトの完全一体型マニファクチュールで習得された 180 の技術と、すべてのタイムピースの製作に欠かせない 5 つのステップ（デザイン、製造、仕上げ、組み立て、装飾）を紹介します。このスペースでは、マニファクチュールの舞台裏に潜入し、さまざまな時計製造技術を職人自身の視点から語るビデオシリーズ「イン・ザ・メイキング」を紹介します。

ブースの至る所に設けられたステーションでは、マニファクチュールの熟練職人たちが、時計製造の精度に欠かせない正確な動作を披露し、高級時計製造において手作業のクラフツマンシップが本質的に残る、歯切り、手作業による面取り、ヒゲゼンマイの成形の 3 つの重要な技術を実演します。

アトリエ・ド・アントワヌで行われる 2024 年体験型ディスカバリーワークショップでは、精度に焦点が当てられます。ダイナミックで非常にインタラクティブな形式で、極めて重要でありながら、あまりクローズアップされることのない時計製造の要素の原理とプロセスの深みへと、参加者をお連れします。ディスカバリーワークショップは事前予約制です。

精度にインスパイアされた新しい美食体験

2024 年、ジャガー・ルクルトはミシュラン 2 つ星シェフのヒマンシュ・サイニ氏に、食材の科学に特化した新しい美食体験「ザ・プレジジョン・アトリエ」を依頼しました。メイド・オブ・メーカーズ・プログラムの最新コラボレーションである「ザ・プレジジョン・アトリエ」では、シェフのヒマンシュ・サイニ氏が特別に考案したドリンクと組み合わせた 4 種類の一口料理を試食することができ、風味と科学のユニークな融合、驚くほど正確なスパイスのブレンド、非常に芸術的で精巧な美しさを持つプレゼンテーションをお楽しみいただけます。

Watches and Wonders は 2024 年 4 月 9 日から 15 日までジュネーブで開催され、4 月 13 日（土）から 15 日（月）まで一般公開されます。ジュネーブでの開催に続き、2024 年 5 月にはドバイ、9 月には北京で開催される予定です。

Watches and Wonders Geneva 2024 の一般当日券は、以下のリンクよりオンラインでご購入いただけます。 <https://www.watchesandwonders.com/en/geneva-2024>



ジャガー・ルクルト - ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™

1833 年以来、ジャガー・ルクルトは、革新性と創造性への抑えきれない渴望に導かれ、故郷ジュウ渓谷の平穏な自然環境からインスピレーションを得て、複雑機構への熟練した技術とその精度で際立った存在となっています。ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™として知られるマニュファクチュールは、1,400 を超えるキャリバーの制作と 430 以上の特許を通して、その絶え間ない革新の精神を表現してきました。ジャガー・ルクルトの時計職人たちは、190 年にわたる蓄積された専門知識を駆使して、最先端の精密なメカニズムの設計、製造、仕上げ、装飾を行い、何世紀にもわたるノウハウと情熱を融合させ、過去と未来をつないでいます。時代を超え、常に時と共にあります。180 種類もの専門技術がひとつ屋根の下に集結したマニュファクチュールは、その技巧に、デザインの美しさを独特で控え目な洗練を組み合わせ、高級時計に息吹を吹き込んでいます。

高い精度を生み出すグランド・メゾン

1833年の創業以来、ジャガー・ルクルトの中核を成す価値観である精度への追求は、非常に重要な意味を持っています。創業期は、ピニオンの歯をかつてない精度で切削する工具（1830年）と、ミクロン単位での計測が可能な世界初の測定器であるミリオンメーター（1844年）といった、アントワーヌ・ルクルトの2つの重要な発明の上に築かれています。この2つは、時計製造業全体に大きな影響を与えました。マニュファクチュールでは、ジャイロトゥールビヨンとして知られる初の多軸トゥールビヨンや、さまざまな形状のヒゲゼンマイの開発など、精度を追求する研究によって画期的な技術が次々と生み出されてきました。コンプリケーションキャリバーでは、デュオメトルのシステムの発明により、複雑機構の動作によって等時性（その「鼓動」の規則性）が損なわれることはありません。ジャガー・ルクルトにとって、精度の追求は創業以来の中心的な信条であり、これからも続いていきます。

jaeger-lecoultre.com